

一般社団法人日本災害看護学会 平成 28 年度定時(第 1 回)代議員会 議事録

日時：平成 28 年 8 月 25 日（木）16：00～18：20

場所：久留米シティプラザ 4 階 スタジオ 3

出席者：石田千絵代議員，臼井千津代議員，太田晴美代議員，岡崎敦子代議員，金澤豊代議員，神崎初美代議員，菊池志津子代議員，高田早苗代議員，寺師榮代議員，夏目恵美子代議員，舟橋香緒里代議員，三澤寿美代議員，三橋睦子代議員，桶村貞子代議員，葛西陽子代議員（組織代理）

山本あい子理事長，南裕子副理事長，大柴福子理事，石井美恵子理事，小原真理子理事，山崎達枝理事，山田覚理事，片田範子推薦理事，吉田俊子推薦理事，森下安子推薦理事，西上あゆみ推薦理事，大野かおり推薦理事，笈淳夫監事

委任状：21 名

（敬称略）

1. 開会

司会の南副理事長より，出席代議員 27 名，委任状 21 名であり，定款第 24 条および 24 条の 4 に基づき，代議員会が成立することが報告された。（代議員 51 名中，48 名出席）

2. 理事長挨拶

山本理事長より挨拶があった。

3. 年次大会長挨拶

第 18 回学術集会長の三橋睦子氏より挨拶があった。

4. 議長選出

定款 22 条より，理事長が議長となることが確認された。

5. 議事録署名人選出

愛知医科大学 臼井千津氏，大阪府看護協会 寺師榮氏が議事録署名人として選出され，承認された。

6. 報告

1) 庶務報告（大野理事）：代議員会資料 p1, 2

(1) 会員登録数が個人と組織合わせて 1,583 名であることが報告された。

(2) 第 17 回年次大会（吉田大会長）について，参加者数は約 1,681 名で好評のうちに終了したと報告があった。

2) 理事会報告（山本理事長）：代議員会資料 p2～5

(1) 理事会の活動について山本理事長より報告があった。

(2) 今年度の代議員・役員選挙の選挙管理委員に東ますみ氏（神戸女子大学），池田清子氏（神戸市看護大学），立垣祐子氏（兵庫医療大学）が推薦され承認された。

3) 組織委員会（大柴理事）：代議員会資料 p5, 6

- ・ 本代議員会終了後に第 18 回組織委員会を開催する。

7. 議事

1) 平成 27 年度事業報告の承認：代議員会資料 p7～9

下記のとおり各事業の報告，質疑応答を行い，全会一致で承認された。

(1) 学会誌編集・発行（山田理事）

学会誌 3 誌の発行，査読者の選任・委嘱，英文抄録のネイティブチェック，リポジトリ等について検討した。

(2) 組織会員の活動推進（大柴組織会員理事）

第 17 回年次大会で情報交換会を開催，組織会員の入会促進活動等を行った。

(3) 社会貢献・広報活動（山崎理事）

ニュースレターの発刊，ホームページの保守と管理，第 17 回年次大会で「市民公開講座」を開催した。

(4) ネットワーク活動（石井理事）

災害時初期調査・初動調査，先遣隊活動との連携を継続しており，第 17 回年次大会でシンポジウムを開催した。熊本地震看護プロジェクト（仮）立ち上げのため，益城町との調整を行った。

(5) 教育活動（小原理事）

第 17 回年次大会でワークショップを開催し，学会認定の災害看護活動調整員（案）養成の検討を行った。

(6) 国際交流の推進（南副理事長）

学术交流を主とした情報発信のためにホームページの英語バージョンの充実，本学会および日本における災害情報の発信，海外の災害時支援の検討，世界災害看護学会との連携活動と事務局としての支援活動等を行い，第 17 回年次大会で交流集会を開催した。

(7) 募集活動（西上理事）

ネパール大震災募金活動事業は 6 月 30 日で終了，現在，平成 28 年熊本地震募金活動を行っている。

(8) 東日本大震災看護プロジェクト（吉田理事）

福島県相馬市および宮城県気仙沼市の仮設住宅での健康支援活動，宮城県気仙沼市での仮設住宅住民への健康調査等を継続し，第 17 回年次大会でシンポジウムを開催した。

(9) 災害看護用語検討プロジェクト（片田理事）

災害看護関連用語（案）検討ウェブサイト開設にかかる準備と運用，災害看護関連用語（案）40 語の精練のための調査依頼準備等を行い，第 17 回年次大会で交流集会を開催した。

(10) 法人化プロジェクト（森下理事）

定款および代議員・役員選出規定の決定，定款施行細則（案）および各委員会細則（案）の検討，一般社団法人の手続きに関する書類等の準備を行った。

(11) 学術集会（南副理事長）

第 17 回年次大会の企画・開催，第 18 回年次大会の準備を行った。

(12) その他（大野理事）

(13) 世界災害看護学会支援，看保連と日本看護系学会協議会活動への参加，日本学術会議事業・防災学術連携体への参加と情報発信を行った。

(14) 質疑応答

- ① 質問：災害看護活動調整員（案）の養成は本学会のみでの認定か、他学会も含めて認定するのか。

回答：呼称も含めて検討中である。委員会・理事会で検討を継続する。

- ② 質問：年数が経てば用語の使われ方が変わってくることもあるが、フォローアップして検討していく計画か。

回答：用語の使われ方の経年的な変化については委員会でも把握している。用語の使われ方のメンテナンスについて継続的に行う必要があるか委員会で検討し理事会に提案する。

2) 平成 27 年度会計報告・監査報告の承認（西上理事）：代議員会資料 p10～13

代議員会資料に基づき、平成 27 年度会計報告を行った。

また、監事より平成 28 年 7 月 24 日に収支計算書、資産目録及び証拠書類を監査した結果、適正な執行が行われていることが報告された。

以下の質疑応答を行い、全会一致で承認された。

- ① 質問：支出について予算額より決算額が少ないが、次年度繰越金が前年度に比べて減っている。どのように考えれば良いのか。

回答：事業を活発に行うため予算では活動費を多めに配分していたが、各事業の活動は予算内で行うことができたために、決算では予算以下の値となっている。平成 27 年度予算額の予備費が前年度繰越金より少なくなっているのは、学会事務所の変更に伴い業務委託費等が必要となり、繰越金を使って予算を組んだためである。

3) 平成 28 年熊本地震に伴う年会費免除について（西上理事）：代議員会資料 p14

代議員会資料に基づき、平成 28 年熊本地震に伴う年会費免除について説明し、全会一致で承認された。

ただし、平成 28 年度の年会費を振り込み済みの場合は、振り込み済みの年会費を平成 29 年度年会費に当てることとする。

4) 平成 28 年度事業計画案の承認（山本理事長）：代議員会資料 p15～17

代議員会資料に基づき説明を行った。質問等はなく、全会一致で承認された。

5) 平成 28 年度予算案の承認（西上理事）：代議員会資料 p18, 19

代議員会資料に基づき平成 28 年度予算案の説明を行った。

南副理事長から、法人となったことにより年次大会予算を一般会計に組まなくてはならないが、任意団体から法人への移行期であり第 19 回年次大会予算案がまだ出来上がっていないことの説明があった。第 19 回年次大会収支計画を含めた補正予算を立てること、補正予算案承認のための第 2 回代議員会（臨時）を開催することが提案された。

以下の質疑応答を行い、全会一致で承認された。

- ① 質問：収入がプラス決算になると税金を多く払うことになるのか。

回答：収入見込みは年次大会である。これまでの年次大会では収支決算が 0 であるため、

多額の税金を払うことは予想していない。

- ② 質問：年次大会準備金はどのように取り扱っているのか。また、今後の年次大会の収支決算はどのように扱うのか。

回答：年次大会準備金は全額返金してもらっている。今後の年次大会収支は学会本体の一般会計で行うため本会のルールに従って取り扱う。

6) 任意団体から一般社団法人への移行について（山本理事長，森下理事）：代議員会資料 p20~31
および「一般社団法人日本災害看護学会定款施行細則（案）」差し替え資料

(1) 任意団体解散・残余財産譲渡の報告について，山本理事長より報告があった。

(2) 一般社団法人日本災害看護学会定款施行細則（案）

森下理事より定款施行細則（案）について説明され，以下の質疑応答・表現の修正を行い，全会一致で承認された。加えてこれ移行の修正については理事会に一任することが認められた。

- ① 質問：第4条 五 災害看護教育活動委員会 について，事業報告にある事業名は「教育活動」となっている。「教育活動委員会」でもよいのではないか。

回答：災害看護に関する教育活動を行う委員会であり，事業名を「災害看護教育活動」と変更し委員会名と合わせることになった。

② 文言・表現等の修正（下線部は修正後）

- 第3条 : …者とす。一および二 ものを者に修正
2 : …（学部，学科，専攻等）
- 第4条 : 二 ネットワーク活動委員会
- 第5条 2 : 議事録署名人 2名は，
- 第6条 2 : 議事録署名人 2名が
- 第7条 : …決議のより行う。

(3) 委員会細則（案）の承認

森下理事より委員会細則（案）について説明され，以下の質疑応答・表現の修正を行い，全会一致で承認された。加えてこれ移行の修正については理事会に一任することが認められた。

① 文言・表現等の修正（下線部は修正後）

- 各委員会の任務については体言止めにする。
- インデントを揃える。
- 委員会委員は理事会で承認する。
- 組織会員委員会
- 国際交流委員会第2条：「学术交流を主とした情報の発信」を削除

(4) 募金に関する規約（案）の承認

森下理事より募金に関する規約（案）について説明され，以下の表現の修正を行い，全会一致で承認された。

① 文言・表現等の修正（下線部は修正後）

- 第5条（使途）第2条の目的のために募金の…

7) 第 20 回年次大会大会長推薦の承認（山本理事長）：代議員会資料 p32

現在調整中の旨，現状の説明があった。第 2 回代議員会で承認を得る。

8. 第 19 回年次大会会長あいさつ

近田敬子氏（鳥取看護大学学長）より挨拶があった。テーマは「ソーシャル・キャピタルの醸成と災害看護」，会期は 2017 年 8 月 25 日（金）・26 日（土），鳥取県立倉吉未来中心・三朝温泉で行われる。

9. 閉会のあいさつ

南副理事長の挨拶により，平成 28 年度第 1 回代議員会は閉会した。

一般社団法人日本災害看護学会 平成 28 年度第 1 回代議員会 議事録の承認

平成 28 年 10 月 7 日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印